

総目録刊行にあたって

季刊『東南アジア研究』は、昭和38年1月、東南アジア研究センターが学内措置によって設置されると同時に、センター機関誌として創刊された。センターは、2年後の昭和40年4月、「東南アジア地域に関する総合研究を推進するため」京都大学学内共同利用組織として官制化されたが、本誌の発行事業は新センターに引き継がれ、その後、順調な刊行を続け、本年度で第24巻を数えることとなった。学内外からの寄稿者も、巻を重ねるごとに一層増加し、とくに近年は国内および諸外国から寄せられる新進の東南アジア研究者の投稿が量質ともに際だっている。

東南アジア研究センターは、昨年、創立20年を迎え、これを記念して、シンポジウムの開催や論文集の出版が行われた。そうした記念行事の一環として、ここに『東南アジア研究』創刊号からの総目録が出版の運びとなったことは、まことに慶びにたえない。この総目録は、創刊号以来の全目録を再録し、掲載された論文、研究ノート、資料、書評など、すべての検索を容易にするため、著者名の索引を付し、さらにそれを地域別に配列して利用者の便をはかったものである。本総目録の出版によって、季刊『東南アジア研究』の利用価値がさらに高まることが期待される。なお、本総目録の完成は、東南アジア研究センター資料部編集室の奥野有子さんの努力によるものである。記してその労に感謝したい。

昭和61年3月

京都大学東南アジア研究センター

所長 石井 米雄